

第3回審議会の意見集約

前回、委員の皆さまからいただいた意見を内容別に整理しました。次回の審議会までに目を通していただけると幸いです。下線は中島会長の意見です。

【大義について】

- ・「Life (ライフ)」、生命あってこそいろんなことができるわけですので、ライフが一番大事／郷土に対する「愛」／夢の「光」、希望の「光」が子どもたち一人ひとりに陽を射す。
- ・こういうものが十分に生徒に注ぎ込まれるためにはこういう適正規模が必要だという大義。
- ・有田町は有田町の独自の理念に基づいて、大義・理念を確立していただきたい。

【学力について】

- ・町外の学校へ行かなくても、町内中学校の教育レベルがはるかに高かった。
- ・職員が減少するところが懸念に思う。
- ・免許外指導が行われ出した時に、有田町の学力というところは率直に心配／免許外の先生が教えることがいけないのではなくて、やっぱりそれなりにレベルが高いところで指導を頂くというところで、そこができなくなってしまうという心配。

【小規模校（1学年1学級）について】

(メリット)

- ・今の学校に子どもたちを通わせたいなという気持ちがあった／知り合いの方から、小規模でみんなが1年生から6年生まで仲良くてのびのびしているよと聞いて決めた。
- ・人数が少ないからこそ、みんなやっぱり仲がいいです。
- ・先輩の子たちが後輩の子たちのお世話をするという仕組みみたいなものが出来上がっています。
- ・大きい学校だと、大きいからこそ、同じ子としか遊ばないと感じるところはある。和気あいあいという感じはないのかなと。

(デメリット)

- ・(不登校) クラス替えがなく、クラスの中で何か活動するという機会はその子にはなかった／クラスがもう1つあったら、何か解決できるのではないかなと、その当時は思っていました。だから2学級以上は欲しいなと感じました／悪くなった時には2学級以上欲しいなと思います。
- ・やっぱり2クラスあった場合、来年クラスが替わる、だからもうちょっと頑張れるよという雰囲気になると思います。

(その他)

- ・「(他の学校との) 統合は嫌だ」と。その子の意見だと思いますけど「今の小がいい／今が楽しいという意見をはっきり言っている。
- ・自分の通っている学校に誇りを持てる。

【PTAについて】

- ・(学校の規模に関係なく) 結局同じ方ばかりPTA役員になる。
- ・(役員をしていますけど) すごくまとまっている印象があります／大きすぎると大きすぎるなりの負担があるのではないかな。

【中学校の部活動について】

- ・部活の選択が少ないことで中学校を悩んだというところは確かにありました／部活動の選択肢というところはもうちょっと広くあってほしいです。
- ・社会体育のチームに入っています／社会体育に子どもを通わせてみて、とてもいいなと思いました。全然違う地区(遠くは伊万里市)からでもやっぱり同じ部活をしてすごく仲良くなるし、すごくそれは良いなと思っている／学校の部活にこだわらなくてもいいのかなと思います。
- ・指導者をどうするのかというのがこの社会体育化していく時には一番問題。簡単に社会体育化するというのは難しい／一方で子どもたちもどんどん減っていきますから。その中でどれだけ充てていくか、人数を揃えていくかというような子どもたちの問題もあります。

【統合について】

- ・小規模になることによるメリット、もちろんデメリット、いろんなことがあると思いますが、やっぱり人間関係を作るうえで、人数はたくさんいた方が良いかな。
- ・将来的にもう人数が減るというのは分かり切っていますので、なんらかの形として学校を、そのためのこの話の場だと思いますけど、統合するという話になってくる可能性が高いのかなと思います。
- ・私が懸念しているのは、例えば統合した時に、場所をどこに作られるのかなというところが非常に心配なところではあります／子どもたちの通学といったところにも問題が出てきます／通学するための方法というのも考えた上での統合を考えなければいけない。
- ・親の負担、子どもの負担、体力的なところとか、時間的なことがどうしても多分出てくるかと思いますが、そういったところが極力少なくなるような適正配置でいけば、親も子どもも満足して、学校に通わせることができるのではないかなと感じました。

【学校選択制について】

- ・子どもにとって多分合う雰囲気がある。大きい、たくさんいるところが合うとか、少ないところが合うとか、子どものタイプによって多分変わるのではないかなと思います。そういう選択ができればいい。
- ・有田小に関しては小規模特認校とかにしてもいいのかなと思います。

【学校のアピールについて】

- ・本当にやっぱり大事な学校ですので、そういうところで中学校共々応援して頂きたい。
- ・（この審議会のメンバーも）有田の学校をアピールできるような立場になって頂きたい。
- ・小中学校は、「地元の子どもたちが自分の学校に来る」というのが前提になっているから、学校の中で「こういう教育をしていますよ」、「子どもたちはこういうことで育っていますよ」というアピールの手段を考えていく。
- ・将来的にこの人数が減らないために、ほかの学校、校区外に行かないような仕組みを作っていく。中学校も、小学校も、やっぱり「地元の学校に行けばすごく生活しやすい、しやすいよ」と、「仲間作りもしやすいよ」という雰囲気を、私たち保護者もしていかなければいけないのかなと思っています。

【町の施策について】

- ・校区外に子どもたちが出ていく問題は、やっぱりそれぞれの学校及び教育委員会で考えていかないといけないだろうと思います／子どもたちを増やす手立てを考えていかないといけない／市町から移住してくるような魅力ある施策／有田町は特に焼き物を利用して、施策を何か考えられないか。

●提案

合併した際にこういうメリットがある、登校するのにこういうデメリットがあるとか、そういうのを1つずつ分かりやすくしていけば、いい案が最終的に出るのかなと思いました。